



あともむ

姫路科学館友の会会報 第155号〈2018年7月〉(友の会事務局発行)

子どもが選んだ本

この春、子どもたちが選んだ本のベストテンが新聞記事になりました。全都道府県の小学生約13万人が投票した結果、第1位に輝いたのは、「ざんねんないきもの事典」です。動物の進化をユーモラスに紹介した本で、続編も第4位に入っていました。この本の中には、現在、姫路科学館で開催している特別展「夏のむし・ムシ大集合5」で活躍中のクワガタの話もありました。「クワガタの大あごは長いほど、オスどうしの戦いでは有利です。そのため、進化の過程でどんどん長くなっていきました。しかし、・・・」と続き、不便なことも綴られていました。このような「ざんねんな話」がたくさん詰まった本です。大人の方も、ぜひ読んでみてください。



さて、これからが夏本番。姫路科学館では、イベントをたくさん用意して、皆様のご来館をお待ちしております。また、友の会では、8月の親子科学工作教室、9月のお米教室と事業が続きます。今後とも、ご支援ご協力をお願いいたします。

(友の会会長 上田倫範)

館長の科学館便り



【ツツジの花を訪れたミヤマカラスアゲハ】

館長室前の樹々の間にさまざまな生き物を見ることができます。4月当初には、まだ葉の出していない樹々の間からシカが館長室のようすを窺っているように見え、別の日には、ヤマガラが窓越しに覗き込んで館長室を表敬訪問してくれました。樹々が新しい葉を出し始めると見通しはよくはありませんが、ヒヨドリやカラスが枝にとまりエサを探している姿もありました。

また、昆虫も日ごとにたくさん見ることができるようになり、成虫のままで越冬していたテングチョウやルリタテハが気持ちよさそうに翅を広げて静止する姿やツツジの花を訪れたミヤマカラスアゲハ、アセビの花にはトラフシジミ、ドウダンツツジの花にはコツバメ、地面で吸水するルリシジミや気ぜわしく地面を歩き回るニワハンミョウの姿などその時々でさまざまな種を見ることができました。また、自然園の池に堆積している土砂には黒くて大形のモンキアゲハやナガサキアゲハなどが吸水に訪れたりもしています。日差しも日に日に強くなり夏の訪れを感じさせるころになると樹上付近をオレンジ色の小さな蝶が飛び始め、よく見ると翅の裏にはいくつもの黒い線が入っており、ゼフィルスと呼ばれるシジミチョウのなかまのウラナミアカシジミであることが確認できました。季節の変化とともに自然が豊

かな科学館周辺では多様な生物に触れることができます。ここで紹介しました生物につきましては、郷土の自然のコーナーでは是非ともお確かめいただきたいと思ひます。

さて、青山の地にお世話になって 25 年を迎えた姫路科学館では、ゴールデンウィーク期間中にバースデーイベントとして自由参加の科学教室や楽しいワークショップ、特別展「科学実験の今むかし」でのギャラリートーク&科学実験実演、星の子館からの出張イベント「望遠鏡ミニ体験」「おもしろ頭脳検定」をおこなったり、ミニ展示として「思い出の写真展1」を開催したり、フロアにいるスタッフに「おめでとう」と声をかけてくださったお客様に特製カードをプレゼントさせていただくなど、一年を通して小さなイベントをおこなうスタートとなりました。

また、こどもたちの科学の心をくすぐる Jr 学芸員、岩石・昆虫・ロボットの達人などのサイエンスエキスパート講座や電子工作教室も熱気のなかではじまりました。そして、大人の方向けの木曜サイエンスサロンでは「科学の近代化と兵庫」と題して神戸大学大学院の塚原東吾教授による講座やプラネタリウム全天映画「L I F E いのち」も好評をいただいております。さらに、本格的な夏の到来に向けて「夏のむし・ムシ大集合5」も6月15日から始まっております。そして、15年ぶりの火星大接近にあわせて姫路ゆかりの天文学者、宮本正太郎京大名誉教授と火星のスケッチ観測の成果をミニ展示として4階で開催しております。暑い夏を楽しく過ごしていただけるイベントをたくさん用意しております。是非、姫路科学館へお越しください。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 高橋康範)

<姫路科学館友の会の情報>

○2018 年度会員の状況 2018 年 6 月 20 日現在

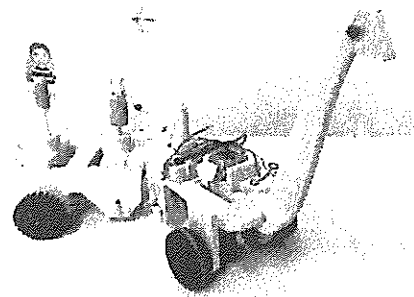
・全期一般会員 195 名 ・全期子ども会員 17 名 ・賛助会員 1 法人 総数 213 名

昨年度の同時期に比べ、約 30 名減少です。お知り合いの方に声をかけていただいて、一人でも多くの方にご入会いただきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひいたします。

○姫路科学館友の会サークル活動「親子科学工作教室」のご案内

夏休みの一日、親子で工作を楽しみませんか。


- 1 日時 2018 年 8 月 25 日(土) 10:00~11:30
- 2 場所 姫路科学館 4 階 工作室
- 3 講師 姫路科学館友の会 工作ボランティア
- 4 内容 恐竜トロッコ (恐竜を動かすと、人形が踊ります。モーターを使う工作です。)
- 5 募集人数 小学 3~6 年生の親子 10 組 (先着順)
- 6 参加費 600 円 (工作 1 体)
友の会で一部補助をしています。当日ご持参ください。
- 7 参加方法 葉書に必要事項を記入して、姫路科学館友の会あてお送りください。定員になり次第しめきりとさせていただきます。また、定員になりましたら、姫路科学館ホームページ内の友の会のページでお知らせします。なお、参加申込の方には、後日、詳細を連絡いたします。
- 8 申込締切日 2018 年 7 月 20 日 (金)
- 9 問い合わせ 姫路科学館友の会事務局 (Tel.079-267-3962)



【お詫び】講師の都合により、会報 154 号でお知らせしていた日程を変更しております。ご了承ください。

申込み葉書

表面

	671-2222
姫路市青山1470-15	
姫路科学館友の会	

裏面

8月25日(土)

親子科学工作教室申込み

①会員番号

②氏名

参加するお子様のお名前と学年をお書きください。

③住所

④電話番号

○予告 姫路科学館友の会研修会「お米教室」

1 日時 2018年9月16日(日) 10:00~11:30

2 場所 姫路科学館4階 工作室

※詳細は次号(9月号)に掲載します。ご期待ください。

○姫路科学館友の会ミュージアムショップ情報

<おすすめ商品のご案内> ※全て税込価格

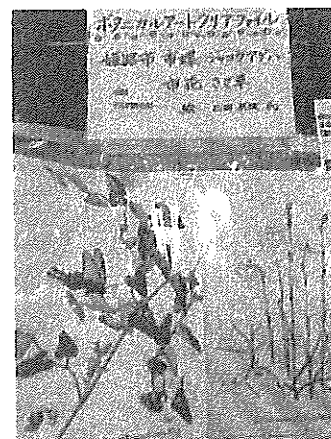


むし・ムシコーナー

特別展「夏のむし・ムシ大集合 5」にあわせて、クワガタやカブトムシなどの虫グッズを販売しています。

ハンコ(400円)や、パズル(648円)の他、クリアファイルや虫カゴなどもあります。

特別展ご観覧の後は、是非ミュージアムショップにお立ち寄りください。



ボタニカルアートクリアファイル 150円
姫路市の市蝶“ジャコウアゲハ”と、市花“さぎ草”の2種類です。

細部まで丁寧に描き込まれた絵は、プレゼントにもお土産にもお勧めです。

<夏のプレゼント 2018年8月11日(土)~15日(水)>

ミュージアムショップでお買い上げいただいたお客様、先着30名様にショップガチャをしていただきます。さて、どんなものが入っているのかはお楽しみに。また、7月8日(日)の「ゴム・ワン®グランプリ」と7月14日(土)15日(日)の「姫路口ボ・チャレンジ」開催日には、「イーケイジャパン・エレキット、科学工作キット」お買い上げのお客様全員に、恐竜や昆虫、動物たちのリアルなフィギュアをプレゼント!皆様のご来店をお待ちしております。

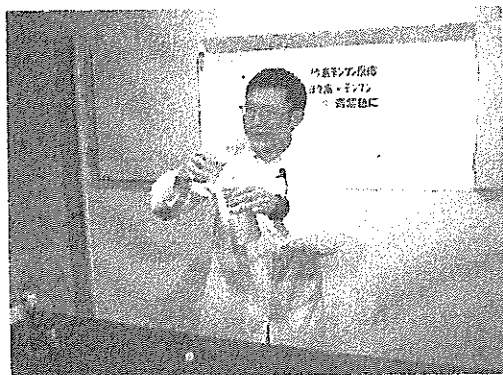
<姫路科学館の情報>

- プラネタリウム 七夕特別投影「たなばた星まつり」 6月27日(水)~7月7日(土)
○プラネタリウム 全天映画「キングペンギン」 7月11日(水)~10月8日(月)
・別途観覧料が必要

- 特別展「夏のむし・ムシ大集合5」 6月15日(金)~7月8日(日)
○特別展「アイス・ワンダーランド」 7月27日(金)~9月3日(月)
・別途観覧料が必要

- ミニ展示「火星大接近! 宮本正太郎とスケッチ観測のススメ」 6月1日(金)~9月3日(月)
○ゴム・ワン®グランプリ 7月8日(日)
○姫路ロボ・チャレンジ夏の陣 7月14日(土)15日(日)
○桜山公園まつり 科学の屋台村 7月21日(土)22日(日)

サイエンスショー <まるでマジック!? いろんな色イロ!>



今回は、みなさんがよく使う食材や身近なものの組み合わせなどによって起こる色の変化を、体験や実験を通して紹介します。

ある液体を加えると色が変わる実験や、砂糖水と食塩水を見分ける実験など、楽しくワクワクする実験ばかりです。

ぜひ、3階のサイエンスシアターにお越しいただき、科学の不思議さを肌で感じてみてください。

科学の本の紹介 <科学の実験大図鑑> ロバート・ウィンストン著/西川由紀子訳

「あぶり出しインク」「スーパー紙飛行機」「ねばねばスライム」など、28の実験を紹介。サイエンスショーと関連した実験もあります。また、著者は「この本で紹介する実験をすること、身のまわりの世界について学べるだけでなく、科学の冒険に出るってことなんだよ。」と書いています。

本は、4Fロビー 科学を“読む”“調べる”“学ぶ”コーナーにあります。

